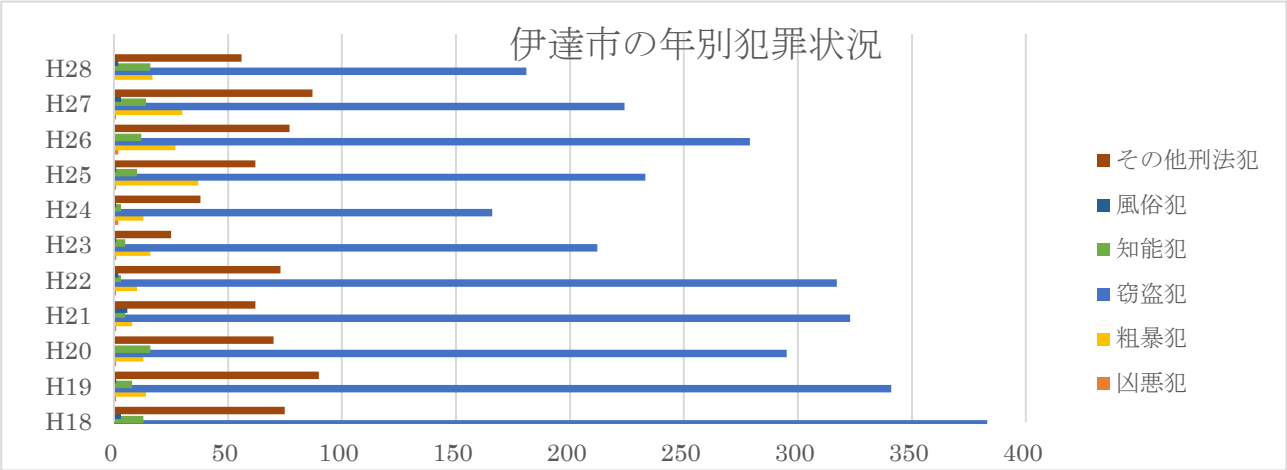
統計情報ー統計で見る伊達市ー　分析報告書

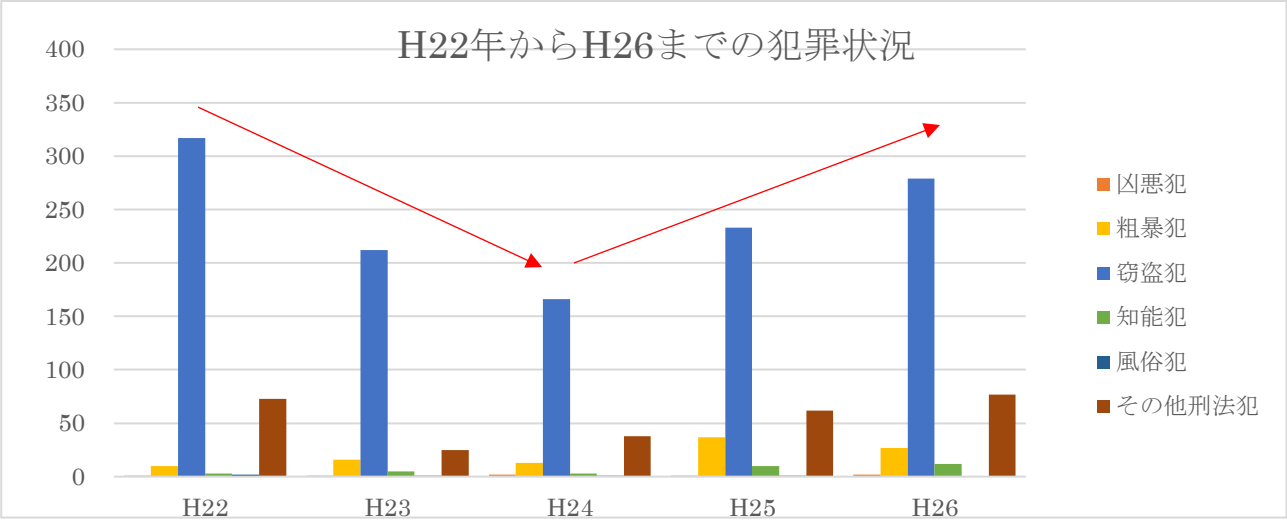
商業科　１年　■組　■番　氏名　■■　■■

１平成 18 年度から 28 年度までの伊達市犯罪状況



伊達市では、殺人や強盗などの凶悪犯は少ないが、知能犯や住居侵入、器物破損などの刑法犯が後を絶たない。しかし、その中でひときわ目立っているのが、窃盗犯である。田舎だからとかいう理由もあるかもしれないが、やはり、市民一人ひとりの意識の問題でもある。たとえば都会の人間にあこがれてキラキラしたものや、高価な物を体にぶら下げたりしているとする。そうすれば、窃盗などを繰り返している人間はそれを見逃さず、すかさず奪いに行く。そこまで考えもせずに高価な物をぶら下げている市民の注意不足ということが考えられる。

２　平成２２年から２６年における犯罪状況の変化



これは、上のグラフの２２年から２６年をピックアップしたものだ。グラフを見てもらうと平成２３年から２年間の間、犯罪件数が全体的に下がっている。２３年に何があったかは、周知のことだろう。東日本大震災があった２３年から、犯罪の件数が減っているのだ。犯罪者であってもやはり人間であるからして、自然災害は怖いのだろう。逆も然り。混乱に乗じて、避難して中に人がいない家や、仮設住宅で暮らす人々から金品などを奪う人などもいるということだ。２４年にはもう落ち着いていたことから、また２５年にかけて犯罪が増えたと考えられる。

□　出典　□

伊達市統計情報

https://www.city.fukushima-date.lg.jp/soshiki/3/4313.html

■　感想　■

一度こういう機会を通して犯罪などに目を向けてみると、自分自身でも意識し、そして周りの人にも意識させられるということがわかりました。分析というのは難しかったですが楽しかったです。